

平成26年度 第2回和歌山県公立大学法人評価委員会 議事要旨

1 開催日時：平成26年8月7日（火）13：00～17：25

2 開催場所：和歌山県自治会館 3階305会議室

3 出席者

・委員

川淵 孝一（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医療経済学分野教授）

坂本 すが（公益社団法人 日本看護協会会長）

瀬戸 嗣郎（静岡県立こども病院院長）

辻 省次（東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻神経内科学教授）

中川 武正（白浜町国民健康保険直営川添診療所所長）

中西 憲司（兵庫医科大学学長）

・和歌山県

中川福祉保健部長、野尻局長、鳥淵医務課長

4 議事

（1）平成25事業年度の業務実績評価結果案について

（2）財務諸表等の承認に関する意見について

（3）第3回評価委員会の進め方について

（4）その他

5. 議事要旨

（1）平成25事業年度の業務実績評価結果案について

◇法人の自己評価に対し、評価委員が異なる評価を行った項目について

・資料2-1、2-2に基づき法人の自己評価に対し、評価委員が異なる評価をした項目について、議論を行った。

主な意見については以下のとおり。

◆資料2-2 1ページ 法人の自己評価 Ⅲ → 評価委員会の評価 Ⅳ

- ・MD-PhDコースを含めた多様な履修形態を取れるような体制を作っていくことを評価委員会として要望してきていたことの第一歩であり、Ⅳの評価とした。
- ・今年度スタートしたばかりであるにもかかわらず、大学院準備課程に34名の医学部生が登録したことは、評価できる。

◆資料2-2 2ページ 法人の自己評価 Ⅳ → 評価委員会の評価 Ⅲ

- ・英語原著論文数のカウントの仕方とPubMed掲載論文数のカウントの仕方がずれている。
PubMed掲載論文をファーストオーサーのものと共著論文の2つのカテゴリーを付けてカウントすると格差がなくなり、評価が継続してできると思う。
数も質もさらに頑張っていたきたい。
- ・教員1人当たりの英語原著論文は微増しているが、質的にはもう少し高める必要がある。
- ・教員1人当たりの英語原著論文が1.07という数値は必ずしも高くないと思う。

今後は、平均インパクトファクターも併せて付記した方が良いと思う。

◆資料 2-2 3 ページ 法人の自己評価 III → 評価委員会の評価 IV

- ・出前授業の回数と受講者数の大幅な増加について、評価できる。
- ・出前授業を紀南地方でも開催していただきたい。

◆資料 2-2 7 ページ 法人の自己評価 II → 評価委員会の評価 II

- ・単にコンプライアンスのレクチャーをするだけでなく、大学全体が研究者の品格を高め、研究者を育てるという気持ちを持てるようになっていただきたい。
- 上記のことが、MD-P h D コース等の多様な履修形態の中で生まれてくるよう、評価委員会としては期待したい。

◆資料 2-2 9 ページ 法人の自己評価 III → 評価委員会の評価 IV

- ・担任と学生の懇談会の開催数が急激に増加し、昨年より担任制が実質的になり、中味が伴ってきている。
- ・学長ランチミーティングについては、学長がこれだけ力を入れてやっているのは、素晴らしいことである。

◆資料 2-2 10 ページ 法人の自己評価 III → 評価委員会の評価 IV

- ・参加者数も含め、頑張っていると思う。

◆資料 2-2 11 ページ 法人の自己評価 III → 評価委員会の評価 IV

- ・新規採用職員以外の B L S 研修の開催数及び参加者数が増加していることについて評価する。
- ・研修医及び看護職員以外の職員に対し B L S 研修を実施していることは、一般病院の良い発想を取り入れており、非常に良い試みであると思う。

◆資料 2-2 12 ページ 法人の自己評価 III → 評価委員会の評価 IV

- ・来年度以降、例えば共同研究のテーマ名など差し支えがなければ、多少内容の分かるものを提出していただきたい。
- また、どのくらいの成果が表れたかについても併せて記載していただくと評価がしやすいと思う。

◆資料 2-2 13 ページ 法人の自己評価 III → 評価委員会の評価 III

- ・学生からの安否確認メールの返信の反応は悪かったかも知れないが、今回の訓練を行った大学の姿勢には十分学ぶところがある。

◆資料 2-2 28 ページ 法人の自己評価 III → 評価委員会の評価 IV

- ・紀北分院において、病院輪番制の当番日に断っていないこと、感染防止対策研修会の開催数・参加者数ともに増加していること等について評価できる。

◆資料 2-2 31 ページ 法人の自己評価 III → 評価委員会の評価 III

- ・海外からの受け入れが進んでいないという感じがある。他の大きな病院はもっと多く受け入れを行っていると思うので、もう少し受け入れ数を増加させていただきたい。

◇平成25事業年度の業務実績に関する評価結果（素案）について

- ・資料1の評価結果（素案）に基づき、議論を行った。
主な意見については以下のとおり。

◆資料1 4ページ 【研究】

- ・英語原著論文数のカウントの仕方を明記する方が良い。

◆資料1 6ページ 【附属病院】

- ・院内感染症対策については、紀北分院の取組は評価できるが、附属病院本院における院内感染症対策チームの活動は少し弱い印象がある。

◆資料1 7ページ 【国際交流】

- ・学生の海外派遣については、順調に進んではいるが、まだ少し低い。
- ・海外からの受け入れをもう少し活性化した方が良い。

◇平成25事業年度の業務実績に関する評価委員会における提言（素案）について

- ・資料3の評価結果（素案）に基づき、議論を行った。
主な意見については以下のとおり。

◆資料3 1ページ～ 【研究】

- ・大学院の中味の充実を長期的に少し検討する必要があると考える。
大学院の充実と研究に専念できる環境を整えることにより、研究の成果が上がるのではないかと思う。

（2）財務諸表等の承認に関する意見について

- ・資料4-1、4-2について事務局より説明を行った。
委員からは特段の意見はなし。

（3）第3回評価委員会の進め方について

- ・法人に意見照会をした内容を受け、第3回評価委員会は書面審議としたい。